

作成年月日： 4. 11. 15
<表紙含む15枚>

令和5年度 熊本駐屯地で使用する電気

自衛隊熊本駐屯地総務部管理課

仕 様 書

1 概 要

- (1) 件 名
令和5年度熊本駐屯地で使用する電気
- (2) 需要場所
陸上自衛隊熊本駐屯地
熊本県熊本市東区東本町15-1
- (3) 業種および用途
官公署（国家事務）

2 仕 様

(1) 供給電気方式等

ア 供給電気方式	交流3相3線式
イ 供給電圧（標準電圧）	6,000V
ウ 計量電圧（標準電圧）	6,000V
エ 標準周波数	60Hz
オ 受電方式	1回線受電方式
カ 蓄熱式負荷設備の有無	無
キ 受電設備の総容量	1,525KVA
ク コンデンサーの総容量	150KVA

(2) 契約電力、予定電力使用量

- ア 契約電力

予定契約電力	310KW
力率	100%
- イ 予定使用電力量 1,075,000KWh
(月別予定電力使用量は4ページ参照)
- ウ 令和4年度月別最大需要電力及び最大日負荷曲線
(5.6ページ参照)
- エ 令和3年度月別最大需要電力及び最大日負荷曲線
(7.8ページ参照)

(3) 供給電気の種類等

「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の要件を満たす再生可能エネルギー電気を供給することとし、その電力は再生可能エネルギー比率100%とすること。
付紙第1「RE100 technical criteria」の概要を参照し、Going 100%-RE100 (<http://www.there100.org/technical-guidance>)を確認すること。

(4) 使用期間

自	令和5年4月	1日	午前	0時
至	令和6年3月	31日	午後	12時

(5) 電力量の検針

- ア 自動検針装置 有
- イ 電力会社九州電力送配電株式会社の検針方法
遠隔自動検針
- ウ 電力量計の構成 電力需給用複合計器SM3EP-R形(変成器付)
計器定数 1,000pulse/kws , 1,000pulse/kvars
パルス定数 50,000pulse/KWh
PCT 6,600/110V , 50/5A , 0.5W級

(6) 需給地点

需給場所における自衛隊熊本駐屯地の需要家の敷設した構内1号柱の高圧気中開閉器の電源側接続点

(7) 電気工作物の財産分界点

上記需給地点に同じ
(但し計量地点における計量装置は九州電力送配電株式会社が所有する装置とする)

(8) 保安上の責任分界点

電気工作物の財産分界点に同じ

(9) 対価の支払方法

- ア 請負者は、九州電力送配電株式会社から毎月末日の検針値を受領した後に、算定した電気使用量及び請求書等を発注者に送付することとする。
- イ 請負者は、供給する電力量に占める再生可能エネルギー電気の比率について確認できる資料を、発注者に書面(付紙第2)で半期ごと提出することとする。
- ウ 請負者は適法な支払い請求書をもって請求を行うこととする。

(10) その他

- ア 力率の保持のため自動力率調整装置を設置しているため、使用期間中は、100%を保持する予定である。
- イ フリッカー発生機器等電気の質に影響を与えるような負荷設備はない。
- ウ 非常用自家発電機(500KVA×1基)計1基を有している。
- エ 契約にあたっては、【「国及び独立行政法人等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する基本方針(平成31年2月8日閣議決定)2.(1)】にいう裾切り方式によるものとする。
- オ 二酸化炭素排出係数、未利用エネルギーの活用、再生可能エネルギーの導入、グリーン電力証明書の譲渡に関し付紙第3に掲げる条件を満たすこと。
- カ その他、この仕様書に定めのない事項については、甲乙協議の上、決定するものとする。

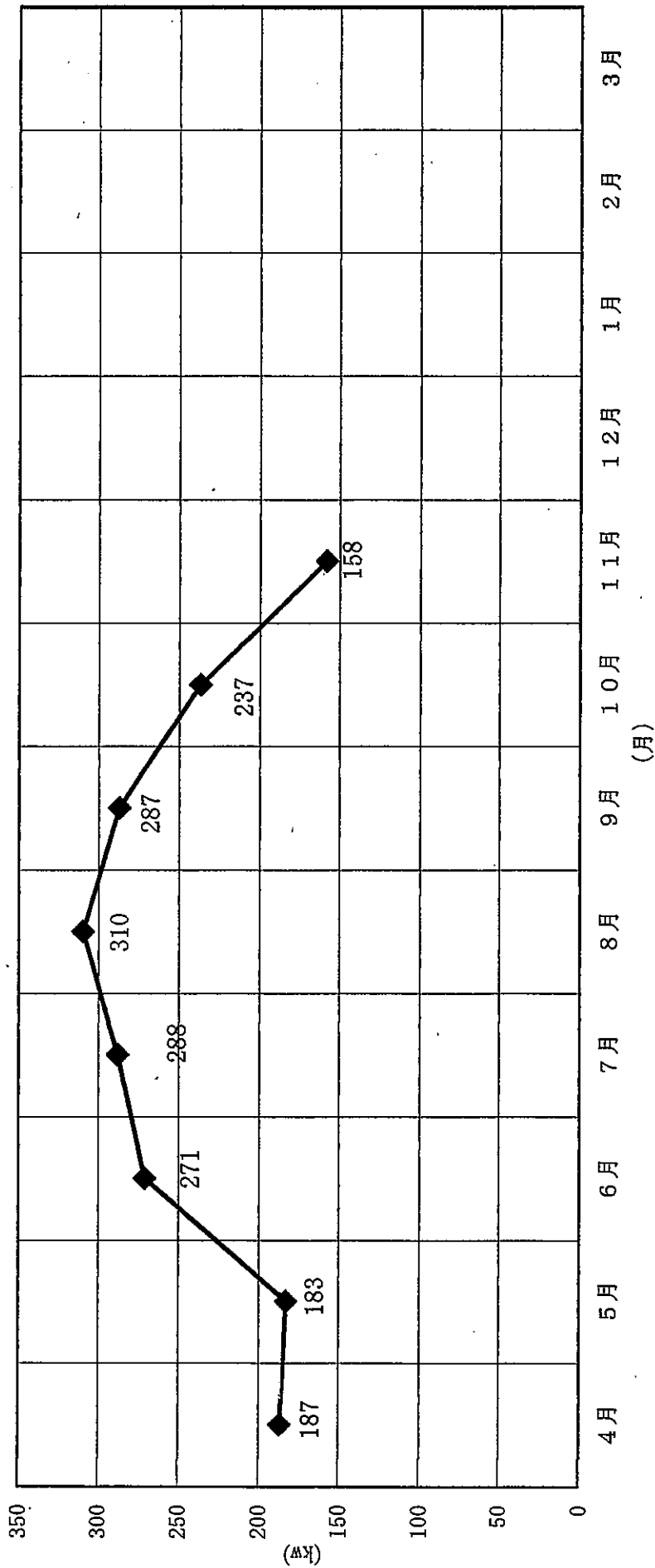
令和 5年度 総使用電力量計画表

(令和 4年4月1日～令和 5年3月31日までの期間)

	契約電力	総使用量	備考
	(KW)	(KWh)	
4月	310	66,000	
5月	310	70,000	
6月	310	88,000	
1四計		224,000	
7月	310	115,000	
8月	310	120,000	
9月	310	105,000	
2四計		340,000	
10月	310	84,000	
11月	310	80,000	
12月	310	84,000	
3四計		248,000	
1月	310	96,000	
2月	310	91,000	
3月	310	76,000	
4四計		263,000	
計		1,075,000	

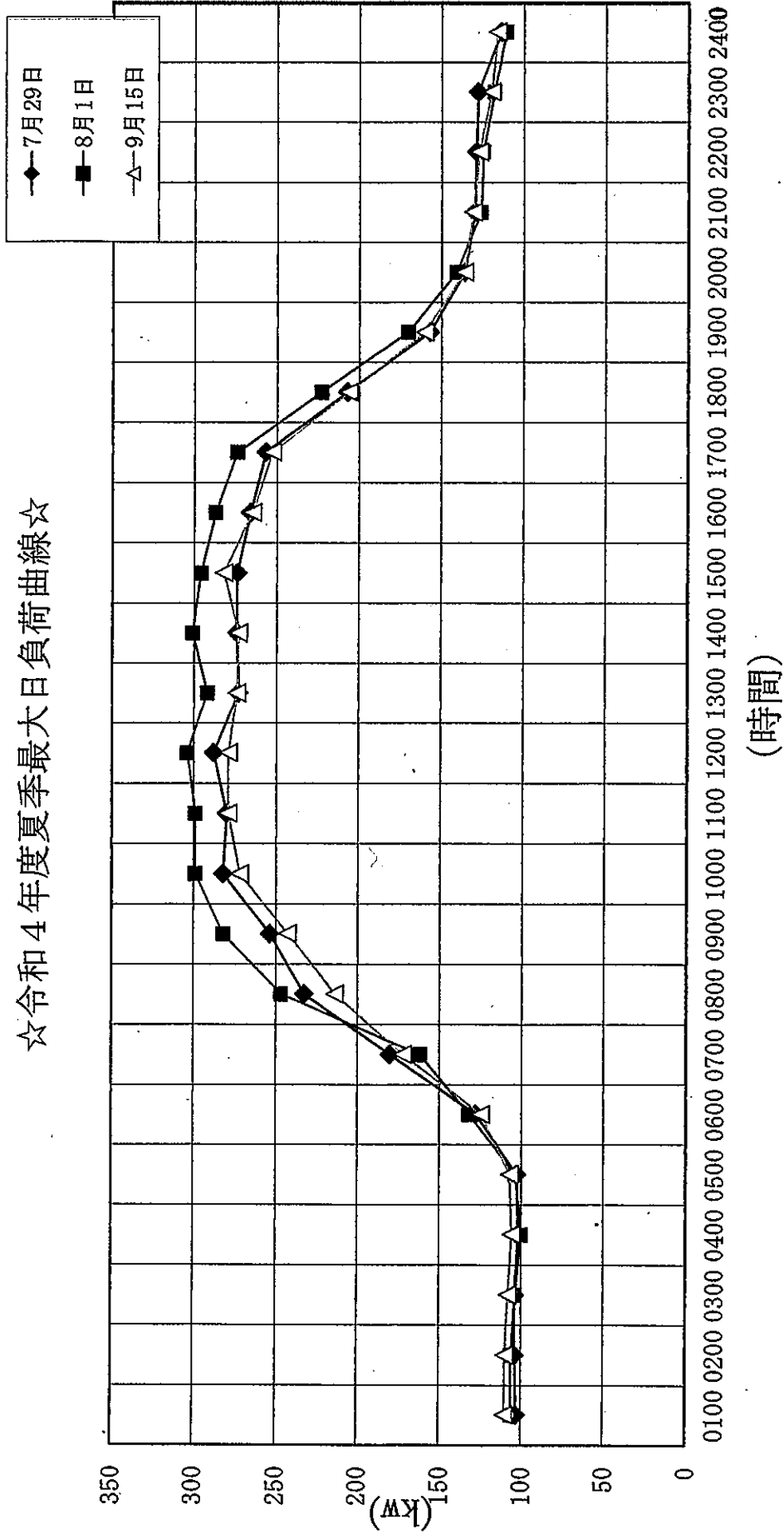
- ・夏季：毎年7月1日から9月30日までの期間。
- ・その他季：毎年10月1日から翌年6月30日までの期間。

☆令和4年度月別最大需要電力曲線☆



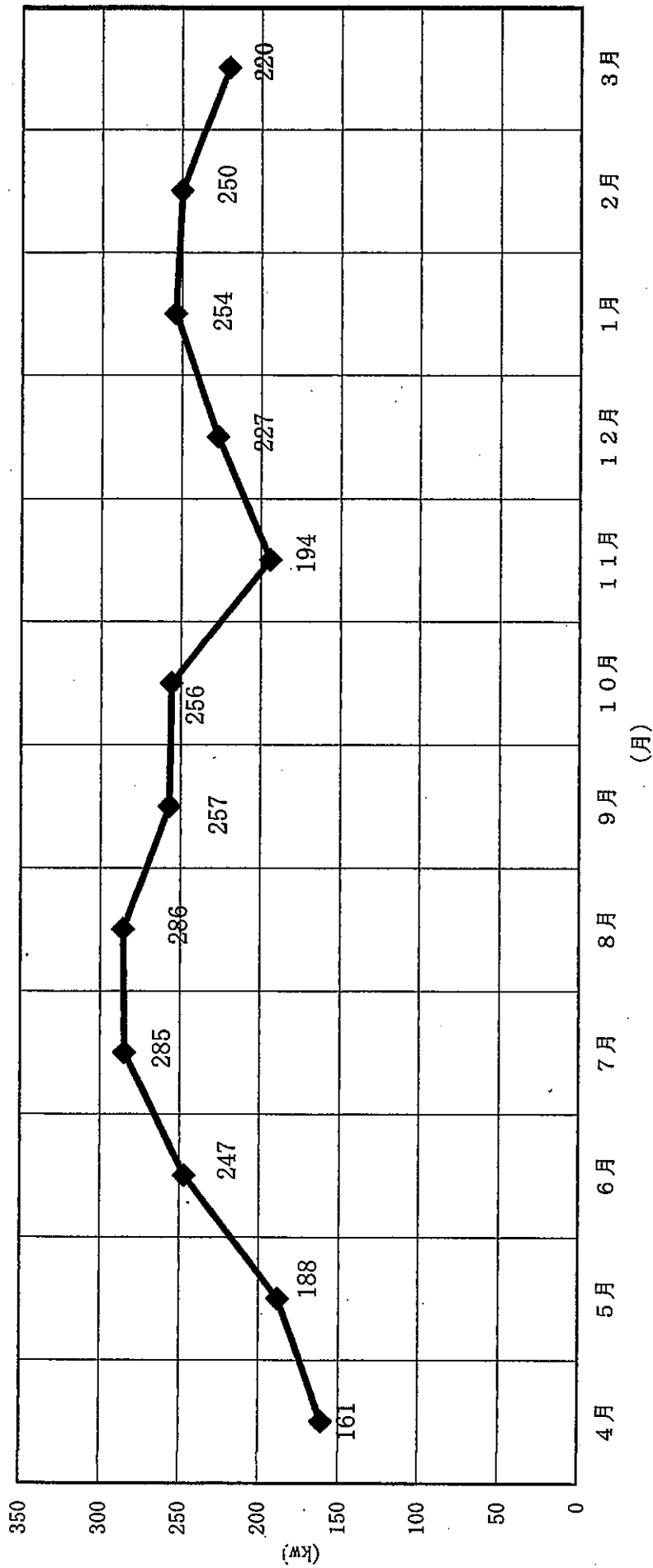
令和4年度												
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
最大需用電力 (kW)	187	183	271	288	310	287	237	158				

☆令和4年度夏季最大日負荷曲線☆



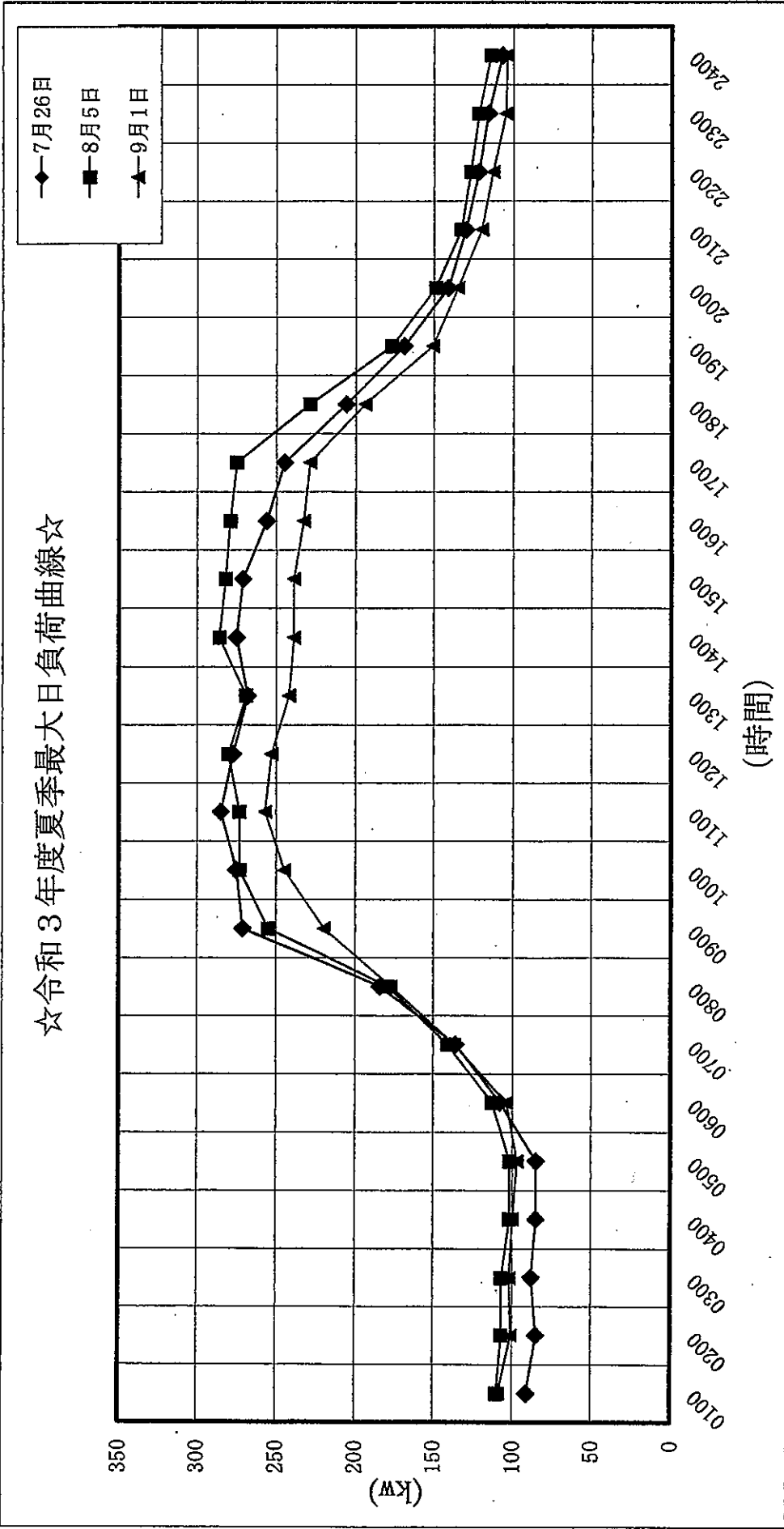
日 時	0100	0200	0300	0400	0500	0600	0700	0800	0900	1000	1100	1200	1300	1400	1500	1600	1700	1800	1900	2000	2100	2200	2300	2400
7月29日	103	104	104	102	103	128	180	233	254	282	280	288	273	274	274	266	257	207	157	136	130	129	128	114
8月1日	106	106	104	100	104	132	162	247	282	299	299	304	292	301	296	287	274	223	170	141	126	125	118	111
9月15日	110	110	108	106	107	125	172	214	243	272	279	279	274	273	282	265	253	206	160	136	131	127	120	116

☆令和3年度月別最大需要電力曲線☆



令和3年度												
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
最大需用電力 (kW)	161	188	247	285	286	257	256	194	227	254	250	220

☆令和3年度夏季最大日負荷曲線☆



日時	0100	0200	0300	0400	0500	0600	0700	0800	0900	1000	1100	1200	1300	1400	1500	1600	1700	1800	1900	2000	2100	2200	2300	2400
7月26日	91	85	88	85	85	108	136	184	271	275	285	277	268	275	271	256	245	206	169	141	130	122	116	107
8月5日	110	107	107	102	102	113	141	179	255	273	273	280	269	286	282	279	275	229	177	149	133	127	122	114
9月1日	109	101	102	100	97	104	137	177	220	245	257	253	242	239	239	233	229	194	151	135	120	113	105	104

「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の概要

「RE100 TECHNICAL CRITERIA^(※)」において、再生可能エネルギー源と認められているのは、以下のものである。

1. バイオマス（バイオガスを含む）
2. 地熱
3. 太陽光
4. 水力
5. 風力

また、RE100における再生可能エネルギー電力の調達方法は、下表のとおり定められている。記載のとおり、電気事業者から購入するほか、自家発電や電力証書の購入等も調達方法として認められている。なお、調達する再生可能エネルギー電力（電力証書を含む。）に付随する環境価値については、重複利用がなく、調達者単独の利用であると主張できることが必要となる。そのため、調達者は、電源情報とともに調達者へ環境価値を移転したこと及び第三者へ移転しないことの証明を電気事業者から得る必要がある。

表 RE100における再生可能エネルギー電力の調達方法

自家発電
1. 企業が保有する発電設備による発電
購入電力
2. 企業の敷地内に供給者が設置した設備から購入
3. 企業の敷地外に設置した発電設備から専用線を経由して直接購入
4. 企業の敷地外にある系統に接続した発電設備から直接購入
5. 供給者（電気事業者）との契約（グリーン電力メニュー）
6. 環境価値を切り離した電力証書の購入

資料：RE100 TECHNICAL CRITERIA を基に作成

※<https://www.there100.org/sites/re100/files/2021-08/RE100%20Technical%20Criteria%20Aug%202021.pdf>

特定電源割当証明書様式例

〇〇年〇月〇日

特定電源割当証明書

〇〇〇〇
〇〇 〇〇 殿

〇〇県〇〇市〇〇
株式会社〇〇〇〇
代表取締役 〇〇 〇〇

〇〇年〇半期に以下の通り〇〇〇〇に電力を供給したことをここに証する。
また、供給電源情報に記載の割当電力量に係る環境価値について、〇〇〇〇に移転したと、いかなる第三者へも移転されていないことをここに証する。

1 お客様情報

お客様番号 〇〇〇〇
需要施設名 〇〇〇〇
需要施設住所 〇〇県〇〇市〇〇
契約電力 〇〇〇〇kW

2 供給期間

〇〇年〇月〇日～〇月〇日

3 再生可能エネルギー由来電力量の情報（各月の内訳は別紙のとおり）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累積
再生エネルギー由来電力量 (kWh) 【A】													
供給電力量 (kWh) 【B】													
再生エネルギー比率 (%) 【A/B】													

【別紙】再生可能エネルギー由来電力量の内訳（〇月）

1 再生エネルギー

供給元発電所名	住所	再生可能エネルギー源種別	割当電力量 (kWh)
〇〇発電所	〇〇県〇〇市〇〇	水力	〇〇
合計 (kWh)			

2 証書による環境価値移転量（環境価値を持つ証書を用いた電力メニューを提供する場合のみ記載）

供給元発電所名	住所	再生可能エネルギー源種別	環境価値移転量	証書期間	証書番号
〇〇発電所	〇〇県〇〇市〇〇	太陽光	〇〇	〇年〇月〇日～〇年〇月〇日	〇〇
合計 (kWh)					

総計 (kWh)

特定電源割当計画書様式例

〇〇年〇月〇日

特定電源割当計画書

分任契約担当官
〇〇 〇〇 様

〇〇県〇〇市〇〇
株式会社〇〇〇〇
代表取締役 〇〇 〇〇

〇〇年度に以下の通り〇〇〇〇に電力を供給したことを計画する。
また、供給電源情報に記載の割当電力量に係る環境価値について、〇〇〇〇に移転する計画がある。

1 お客様情報

お客様番号 〇〇〇〇
需要施設名 〇〇〇〇
需要施設住所 〇〇県〇〇市〇〇
契約電力 〇〇〇〇 kW

2 供給期間

〇〇年〇月〇日～〇月〇日

3 再生可能エネルギー由来電力量の情報 (各月の内訳は別紙のとおり)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累積
再生エネルギー由来電力量 (kWh) 【A】													
供給電力量 (kWh) 【B】													
再生エネルギー比率 (%) 【A/B】													

【別紙】再生可能エネルギー由来電力量の内訳

1 再生エネルギー

供給元発電所名	住所	再生可能エネルギー源種類	割当電力量 (kWh)
〇〇発電所	〇〇県〇〇市〇〇	水力	〇〇
合計 (kWh)			

2 証書による環境価値移転量 (環境価値を持つ証書を用いた電力メニューを提供する場合のみ記載)

供給元発電所名	住所	再生可能エネルギー源種類	環境価値移転量
〇〇発電所	〇〇県〇〇市〇〇	太陽光	〇〇
合計 (kWh)			

総計 (kWh)

※計画作成時点において、供給元発電所等について未定である場合は、可能な範囲で細部について記載すること